

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立蛍明小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-1462

岡山市北区大井360番地

E-mail keimeis@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~keimeis/

幼児児童生徒数 男子 42名 女子 61名 合計 103名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校のある蛍明学区では、蛍が飛び交う清流をはじめとして、南向きの斜面を利用したメロン栽培や米づくりなどの産業、古代吉備の国から続く神社や多くの古墳などの歴史文化遺産などに恵まれている。その豊かな自然と文化は、地域の人々が守り続けて今日に至っている。一方で、中心地から離れているために過疎化と高齢化が急激に進む地域でもあり、豊かな自然と文化のある地域の継承者となる人材が求められている。本校のESDではそのような実情を踏まえ、地域の人を講師として招聘したり、地域へ出向き、活動の様子を見学・インタビューしたりしている。その活動を通して、地域や人々の思いを知り、地域を愛し、誇りに思う児童の育成を目指している。また、ユネスコスクールとして、同様の課題を抱える日本各地、世界各地の小学校とつながることで、自ら情報を発信し、共に考え、解決する力を育みたい。

具体的には、①環境にかかわる学習、②健康・福祉にかかわる学習、③食にかかわる学習、④地域の伝統文化、文化遺産にかかわる学習という4つのテーマで行っている。①については、ホテルについて調べるだけでなく、守り育てている地域の方へのインタビューを通して、川の環境を維持するために様々な努力が行われていることに気がつくことができた。②については、学校の中にある点字ブロックや段差のない廊下などの設備から地域の避難所としての学校の役割や全ての年齢の人に配慮していること、特に急速に増えている高齢者への関わり方までに思いを巡らすことができた。③については、合鴨農法による米づくりや農業

できるだけ抑えたメロン栽培について，地域の方から直接指導していただきながら体験することができた。安全な食品を多くの家庭に届けたいという生産者の思いにもふれることができた。④については，地域に伝わる太鼓の演奏を受け継ぐことから始まり，祭りの中でその演奏を披露したり，市教育文化財課の案内による古墳群の調査等も行ったりした。歴史文化に関する学習は，まとめとしてパンフレットを作成し，地域の公共施設等にも置いてもらうことで，多くの方の目にふれるようにしている。

① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



④ の写真 (キャプション)



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 伝えたい相手を意識して情報を発信する力)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

・岡山県に見られる和食文化についての資料(福寿司 窪田清一氏より)	
・大井地区の歴史についてまとめられた資料(つつる会より)	
・『実験・体験・発見 水辺の自然・遊んで学ぼう 第3巻 川の生き物すみ場所別図鑑』 武田正倫 監修 / 学習研究社・刊 / 2004年	
・『ハンディ版 学校のまわりでさがせる生きもの図鑑 水の生きもの』 武田正倫 監修 / 金の星社・刊 / 2010年	
・『よみきかせ いきもの しやしんえほん21 うまれたよ! ホタル』 中瀬潤 / 岩崎書店・刊 / 2016年	
・『田んぼの生きものたち ホタル』 大場信義 / 農山漁村文化協会・刊 / 2010年	
・『めざせ! 栽培名人 花と野菜の育てかた⑩ くだもの イチゴ・メロン・ブルーベリー』 日本農業教育学会 監修 / ポプラ社・刊 / 2016年	
・『調べてみよう わたしたちの食べもの⑩メロン』 板倉聖宣 監修 / 小峰書店・刊 / 1999年	
・『ユニバーサルデザインとバリアフリーの図鑑』 徳田克己 監修 / ポプラ社・刊 / 2013年	
・『さがしてみよう! まちのバリアフリー⑩バリアフリーなんでも事典』 高橋儀平 監修 / 小峰書店・刊 / 2011年	
・『日本の米づくり①お米って、なんだらう?』 根本博 / 岩崎書店・刊 / 2015年	
・『和の食文化 長く伝えよう! 世界に広めよう! ①郷土料理に見る日本人の知恵』 江原絢子 監修 / 岩崎書店・刊 / 2015年	
・『きわめたい足守町の史跡』 足守中学校郷土クラブ 編集 / 三功社・刊 / 1968年 (非売品)	
・『足守の史跡、文化財』 池田克己(足守歴史同好会長)編集 / サンコー印刷・刊 / 2000年	

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校経営方針の中に、豊かな自然と地域の人材を生かし、郷土を誇りに思う児童の育成という指導の重点があり、その達成のためにESDの視点を取り入れながら活動に取り組むことが明記されている。そのため、主として総合的な学習の時間や生活科の中に位置づけ、6年間にわたる発達段階を考慮した全体計画を作成している。また、普段の学習に加えて地域と関わる体験の場や交流の場を設定することで、人との関わりや問題解決の際に、地域への愛着を深めていけることを目指している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

研修や連絡会を行うことで、各学年でどんな活動をしていくのか、どんな機関や協力者とつながっているのか情報を共有したり、無理なく活動に臨んだりできるよう見通しをもてるような場をもっている。また、年度末には活動を振り返ってみての反省や改善点を確認することで、次年度に繋がられるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

○学校内評価（担任教師による見取り、新聞やまとめ資料、ふり返りなど）
校内のユニバーサルデザインやバリアフリーをグループで絵地図にまとめる活動を友達と協力して行うことで、自分の考えを分かりやすく伝える力や互いの意見を聞き合う力を伸ばすことができた。（4年）

学習指導要領の改定に伴い、各学年で取り組んでいる活動に、より一層の探究のプロセスが生まれるよう配慮しなければならない。そのために、どんな課題意識を子ども達にどうやって持たせていくのか検討が必要である。

○学校外評価

学校評価アンケートで、地域の自然や歴史について、児童達の興味・関心が高まってきたと肯定的な回答をする割合が増えてきている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

○学習発表会…3・5・6年(地域・保護者へ発信)
○石川県の大海小学校との交流…3・4年(大海小学校児童へ発信)
○パンフレット製作…6年(保護者・地域へ発信)
○活動報告会…5年(ゲストティーチャーや活動でお世話になった方々へ発信)
○学校ホームページ…全学年(地域・保護者へ発信)
上記の機会を設けて、これまで調べてきたことを発信した。児童はもちろん、発表を聞いた保護者もそれまで知らなかった地域の魅力を知って、家族ぐるみで愛着を深めることにつながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

足守の豊かな自然と産業について学ぶため、多くの外部協力者や機関と連携して活動している。

・公益財団法人岡山県環境保全事業団	・足守メロン栽培をしている農家
環境学習センター「アスエコ」	・地域の米づくり農家
・岡山県社会福祉協議会	・福寿司会長 窪田清一氏
・岡山市立オリエント美術館	・蛍のゲストティーチャー 林 幹夫氏
・岡山市教育委員会文化財課	・学校支援ボランティアの方々

協力者による様々な体験や話を受け、児童達は意欲的に活動している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

北陸 ESD 推進コンソーシアムのコーディネーターを通じて交流をもつようになった石川県大海小学校の児童達と手紙のやりとりやスカイプでの授業を行っている。互いの学校の様子や地元の名産品について知り合い、それぞれの良さや違いに目を向けることができた。しかし、それぞれの学校で転勤等で引き継ぎが難しい点やスカイプを行うにあたっての通信準備の手間が課題として挙げられる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

学区の自然環境について、その豊かさに気づくことができた。ホタル、足守メロン、川の生き物を調査することで、それらが貴重な存在であることを知ること、守りたいという気持ちになったり、地域の自慢として伝えたいと思ったりするようになった。こうした思いが、ますます地域を身近に感じることにつながり、児童達の地域に対する親近感や安心感を育んでいる。（3年）

米づくり体験やお飾りづくり等を行う中で、様々な分野のゲストティーチャーに協力していただく中で、専門的な話を聞いたり、高い技術に触れたりすることができた。また、地域に存在する人材の豊富さに気づき、地域に対する思いを強くすることができた。また、学習を通して身近な人や自分の住んでいる所を見つめ直し、自分とのつながりを意識できるようになってきている。（5年）

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

【こんにちは、蛍明～人・もの・生き物との出会いを通して～（3年）】

- ・地域の自然や環境について調べたり、考えたりする。
- ・地域の産業について調べる。
- ・調べたことを全校児童や保護者に伝える。
- ・石川県かほく市立大海小学校の3年生と交流（手紙・特産物の交換やスカイプ授業）をもつ。

【だれでも安心してらせる町づくりをしよう（4年）】

- ・学校の中のユニバーサルデザインやバリアフリーについて調べる。
- ・アイマスク体験や車いす体験などを実施。
- ・住みよい町や地域を盛り上げるためにできることを考え、実践する。
- ・模造紙や壁新聞などにまとめ、地域や昨年度から交流している石川県かほく市立大海小学校の4年生に発信する。

【すごいぞ！米パワー（5年）】

- ・地域の方々とともに、米づくりを行う。
- ・もみまき、田植え、稲刈り、脱穀、お飾り作りを地域の方の協力を得ながら行う。
- ・米づくりの活動や米について調べたことなどをまとめ、発表会を行ったり、お世話になった地域の方々を招いて、収穫祭を行ったりする。

【地域の先人たちから学ぼう～歴史探検・歴史探究～（6年）】

- ・自分たちの住んでいる蛍明学区にあるお寺や神社、古墳・城跡などを調べる。
- ・デジタルカメラで「ここを見てほしい」という歴史スポットを撮影する。
- ・パンフレットにまとめ、地域に発信する。